

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年11月8日 第78号
浜田市農林業支援センター

はじめに

国では生産調整や直接支払いといった農業基本政策の見直しが検討されていますが、島根県では平成26年産に向けた水稻の需給調整システム検討会議が開催され、市町村には12月中旬に配分が示される予定です。

浜田市農林業支援センターでは浜田市農業再生協議会を主体として、農家の方々の作付け希望面積の取りまとめ等を行った後、自治区毎に配分案の説明会を実施する予定としていますのでご理解とご協力をお願いします。
(浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当：^{いなだ なかた} 稲田・中田)

頑張る高校生！インターンシップ

10月15～18日に、邑南町にある矢上高等学校産業技術科の2年生によるインターンシップが行われました。今回は、金城町の柿畑紗妃さんと旭町の岡本弥一郎さんが、それぞれの地区の農業者のところで花や野菜、水稻などの作業を行いました。

お二人ともこの期間、初めて体験する栽培技術に驚きつつ、「たくさんのことを学ぶことができ、とても勉強なる」と目を輝かせていました。また、あっという間の4日間だったようで、充実した日々を送ることが出来たのではないのでしょうか。

将来についてはまだ迷っている様子でしたが、将来就農する際にスムーズにスタートが切れるよう、引き続き支援を行っていきます。



▲岡本弥一郎さん

● 認定農業者支援チーム (担当：^{なかた いなだ} 中田・稲田)

力強い勇姿！ACスマイル



11月2・3日、金城町のふれあいジムかなぎを会場として、「第26回さなか祭り」が開催され、若手の認定農業者を中心として組織している金城農業青年クラブ（略称：ACスマイル）が出店されました。

今年も、例年同様に、餅つきの実演販売のほか、ぶどう（ピオーネ）あめと苗物の販売を行いました。餅つきでは、佐々原洋道 会長をはじめとした会員の力強い姿が、来場者の目を引き、足を止めている一場面もありました。当日は、天候にも恵まれ、用意した約300パックの餅はすべて完売し、大好評に終わりました。

これからも、地域を結ぶ農業担い手の中心としての活躍を期待しています。



■ 集落営農組織支援チーム (担当：^{たばら もりわき} 田原・森脇)

浜田で開催！集落営農法人サミット

島根・広島・山口・大分県では集落営農法人の連携強化・持続的発展を目的として、それぞれが協議会活動を展開しています。このような中、各県が抱える課題やその解決に向けた活動の共有を目的に、平成23年度から4県の集落営農法人が一堂に会してサミットを開催しており、第3回にあたる今回は浜田市で開催することとなりました。

2日目には、弥栄町の農事組合法人ビゴル門田への視察が予定されており、1ターンの農業者の定着事例等の取組みが紹介されます。

県外組織との交流を持つ貴重な機会ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしています。参加を希望される方は当支援センターまでお問い合わせください。

【日時・場所】12月2日（月）13：30～16：45 情報交換会 島根県立大学 交流センター
12月3日（火）9：15～12：00 視察 弥栄会館集合

2. 農家レストラン「おっかあの店」

10月25日、JAいわみ中央本所ふれあいホールにおいて、1日限りの農家レストラン「おっかあの店」が開店されました。「おっかあの店」はJA女性部が中心となって地元食材を使った料理を提供する地産地消の催しで、今回は約100名のお客様が来店され、美味しい料理を楽しんでいました。

当日はバイキング形式で和洋様々な約10種類の料理が並び、どの料理においても素材の味と農家の皆様の工夫を味わうことができ、地元食材の美味しさを再確認する機会になりました。

次回のJA女性部による地産地消の催しは、11月23日(土)11:30からふれあいホールにて開催される、「うまいもん祭り」です。チケットは数に限りがありますので、お早めにお問い合わせください。

【参加チケット代：800円】【お問い合わせ先：JAいわみ中央 ふれあい課 TEL 0855-22-0202】



3. 西条柿のオリンピック！「いわみ中央西条柿品評会」



10月28日、いわみ中央西条柿生産組合による品評会が行われ、日ごろの栽培努力の成果が競われました。今年は15点の出品があり、厳正なる審査の結果、横山町の**迫本定展さん**が最優秀賞に輝きました。

この日出品された15点は、11月1日に島根ワイナリーを会場に行われた「島根西条柿品評会」にも出品され、優良賞を山田義喜さん、原征四郎さん、三浦求さん、奨励賞を平木正美さん、迫本定展さんが受賞されました。

今年は春先の天候不順から不作が危惧されましたが、出品されたどの柿も素晴らしいものばかりでした。日ごろのご努力に敬意を表しますとともに、今後ますますのご活躍を期待しています。

4. 田んぼアートが完成しました

本誌第73号にて紹介しておりました、金城町の認定農業者**藤若将浩さん**が主催する「田んぼアート」が完成し、10月13日に収穫が行われました。

昨年に続いて今年も干支にちなんだ**へビ**の模様が作られ、古代米で表現した赤い舌などがきれいに浮き上がりました。

当日は好天に恵まれ、みんなで協力して収穫したあとは地元産の新米ご飯、芋煮やピオーネ等をお腹いっぱいいただき、食欲・芸術・スポーツ?の秋を同時に楽しめる素晴らしいイベントとなりました。



5. ブータン王国留学生の視察がありました



10月8～9日、ブータン王国から神奈川県に留学中の**キンザン・ゲルチェンさん**が浜田市を訪問されました。キンザンさんのご実家はブータンで農業を営まれており、ご自信も将来は農業の道に進みたいと、今回浜田市内で農業体験や施設見学を行いました。

この2日間は、三隅町の三浦求さんの圃場で西条柿の収穫体験、石州和紙会館では紙すき体験、金城町のきんた農園ベリーネではピオーネの収穫と梱包作業、弥栄町の(有)やさか共同農場では圃場や加工施設などの見学をされました。柿はキンザンさんのご実家でも栽培されており、またやさか共同農場で生産されていたタカノツメ(唐辛子)は、野菜として調理して食べられているとのこと。しかし、ピオーネなどの大粒のぶどうは栽培されていないようで、どの訪問先においても興味深そうに話を聞いておられました。

ブータン王国における農業は、農薬をほとんど使用しないことや、出荷用に袋詰めを行わないようで、キンザンさんからブータンの農業事情を聞いたことがとても勉強になりました。農業を通じて浜田市とブータン王国との距離が縮まったように感じられた2日間となりました。



- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAいわみ中央本所分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp

平成25年度林地残材有効活用事業研修会 ～ 林業安全技術研修（初級）～

近年、森林資源の充実や搬出間伐の推進等を背景として、林業の現場は保育中心の作業から木材生産にシフトしており、浜田市においては、平成24年度から森林所有者による林地残材の出荷を支援する「林地残材有効活用事業」を行っています。

事業を実施するにあたり、木材生産について経験が比較的少ない方にも安全に木材生産に取り組んでいただくため、作業路開設等についての初心者向けの研修を、下記のとおり実施します。

記

□第3回 簡易作業路開設研修

日 時： 平成25年11月24日（日）9：00～16：00

集合場所： 浜田市金城町下来原171 みどり会館（金城支所の隣）

内 容： （講 義）作業路のルート選定 （於：みどり会館）

（現地研修）作業路の踏査、バックホウによる開設 （於：雲城山）

講 師： 島根県指導林家 村上和寛氏

●研修にあたっては以下のものをご持参ください

ヘルメット その他作業に必要なもの（山林で作業ができる服装、長靴、作業手袋など）

雨具（※屋外での実習となりますので、雨具を持参ください。）

-----（切取線）-----

研修参加申込書（第3回） 必要事項を記入の上、FAX または郵送でお送りください。

浜田市役所農林課、または支所産業課に直接お持ちいただいても結構です。

住所	(ふりがな)		
	氏名		
生年月日	大正・昭和・平成 年 月 日	年齢	
連絡先(TEL)	— —	【申込み・お問い合わせ先】 〒697-8501 浜田市殿町1番地 浜田市役所 産業経済部 農林課 電話：0855-25-9510（直通） 0855-22-2612（代表） FAX：0855-23-4040	
小型車両系建設機械等の特別教育・技能講習等の受講の有無 (どちらかに○をお願いします)	あり / なし		

※保険加入等に必要ですので全て記入をお願いします。

※昼食は各自で対応をお願いいたします。

申込締切り：平成25年11月15日（金）

主 催： 江の川下流流域林業活性化センター、浜田市